



URL <https://kanagawanet.org/>

2020 市民社会チャレンジ基金は以下の3つの「チャレンジ」に資金を提供します

目的
神奈川県内のNPO等で、コロナ禍における市民生活の課題解決のための新規事業・活動やこれまでの事業・活動の拡大などに必要な資金

原資
神奈川ネットは「個人寄付を拡げる運動」を実践しています。運動に賛同する人々からの寄付が基金の原資です。「社会を変えていくためのチャレンジ」を市民のお金が応援しています

実績
これまでの助成実績
2001年(第1期)~2020年(第29期)
185団体に82,553,074円を助成

公開審査会と助成団体

8月21日、第29期市民社会チャレンジ基金の公開審査会が、オンラインで開催されました。審査結果は、応募9団体中、辞退1団体、助成7団体で合計260万8914円の交付が決定しました。

新型コロナウイルスの影響で当たり前前とすることができない不便さがありますが、新しい環境への転換しやすい時でもあります。屋内が無理なら屋外空間を利用する、来られない場合には訪問する等、知恵を絞る工夫をすれば、新たな生活様式を生みだせる可能性を感じさせてくれる審査会でした。コロナ禍に対応しようとチャレンジする団体を理解し応援することで新しいつながりが生まれます。今後の成果報告にも期待します。

市民社会チャレンジ基金は、「市民がつくるセーフティネット」を基本のテーマとし、活動する団体を公募します。その後、申請団体を訪問調査し、公開審査を行って助成を決定しています。

新型コロナウイルス感染症拡大により、市民生活に大きな影響が出ています。学校の休校、保育園の登園自粛、介護サービスの縮小など、集うことの難しい環境では従来の活動ができません。継続が困難となる団体が出てきています。今こそ、新たな事業や活動によるセーフティネットが必要であり、市民社会を強くすることが求められています。今年で29回目となる市民社会チャレンジ基金は、コロナ禍における活動を募集しました。

2020市民社会チャレンジ基金 コロナ禍における 市民社会を強くする

市民活動連携部長 谷津えみ(ネット藤沢/市議)

特定非営利活動法人のはらネットワーク 【横浜市都筑区】

助成金額：421,220円

感染防止のため子育て中の親子は、自粛生活により親自身のことでイライラや落ち込み不安を抱えている状況がみられる。その中で保育士と親との1対1のチャットによる相談を始め、母親の孤立感の解消の一助となった。

今後使いなれたLINEを通し、多くの親子につながる活動を進める。また、スキルを必要とする相談に対する支援について制度化をめざす。



学校法人神奈川朝鮮学園神奈川朝鮮中 高級学校 / 横浜朝鮮初級学校 【横浜市神奈川区】

助成金額：500,000円

家庭の事情に関わらずすべての生徒に学習環境を整えるために、リモート授業に対応した構内ICT環境等を整備する。整備及び貸出用タブレットの経費。



特定非営利活動法人 リンクトゥマンマー【横浜市金沢区】

助成金額：354,000円

外国人に必要情報が届くのに時間がかかり、正確な情報が届くまでの間は、外国人コミュニティ内での情報共有は極めて有効。緊急対応時の情報拡散・周知に向けて、これまでコロナ禍で拡散した情報とともにセーフティネット掲示板を作成。



公益財団法人現代人形劇センター 【川崎市中原区】

助成金額：500,000円

ろう者と聴者と共に創作活動をする人形劇団として、ワークショップを開催してきた。コロナ禍の中、聾の子どもたちに向けオンラインワークショップを実施し、ふれあいの場をつくる。



HPから転載

(仮) チューリッププロジェクト【相模原市】

助成金額：80,000円

フードバンクかながわと連携し、定期的にフードパントリーを開催。お米のフードバンク「こめんず」の活動を通し、コロナ禍で仕事が不安定な家庭のことがわかり、定期的に食料を渡せる取組みや居場所事業を立ち上げる。



コミュニティカフェ6丁目クラブ【鎌倉市】

助成金額：408,694円

活動自粛要請により、カフェは3か月閉館し、高齢者の家庭訪問、子どもたちには保存食やおやつのお配りを実施してきた。7月からの本格再開に向けてコロナ対策にかかる経費。



宇宙キッチン【厚木市】

助成金額：345,000円

身近な台所から環境問題の体験型学習を開催してきた。次世代にわかりやすく伝えるためのガイドブックや活動を進めるためのビデオを製作し啓発を図る。



HPから転載